



佐藤 高 清 議員

市街化拡大・調整区域のまちづくり方針を市民に示す考えは

問

3月議会の市街化拡大の質問に、市長は「地元から都市計画案を出してもらいたい、市と市民が一緒になって考えたい」との方向性を示した。

答 市長

市街化の問題は大変難しいが、市の将来像に向けて全力投球しなければいけない。その形の中で、都市計画マスタープランを早急に皆さまでにたたき台として、市街化問題を貼り付けて提案していきたい。考え方としては次の通りである。

- ①人口集中地区、区画整理事業の隣地、そういうところをプランに入れていく。
- ②虫食い状態ではなく、大規模開発行為という形の中で区画整理のもとに産業振興地域をつくっていきたい。
- ③飛び地における市街化区域の設定を考えながら皆さまでに提案していく。

また、個々の案件で農地の開発を認可しつつ、市街化が困難だという問題をどう乗り切るのか。

都市計画マスタープランを早急に提案していきたい

問

守るべき農地は守り、計画で示すと解釈してよいか。

答 市長

農業に対する大事さも重々承知している。新しく土地利用する時代になってきているのも事実である。そういった形の中で一度、計画を出したい。

浸水時に土の見える公園をつくる考えは

問

万が一、堤防が決壊した場合、避難場所は浸水などに対応できるか。浸水時に土の見える公園をつくっていく考えがあるか。

万が一、堤防が決壊した場合、避難場所は浸水などに対応できるか。浸水時に土の見える公園をつくっていく考えがあるか。

十四山と弥富地区に防災広場設置を検討

答 市長

海部郡には日光川水系の排水場所が150、そのうち市に22カ所あり、各市町村の排水を組織的に対応する連絡会議があり、一定水位が予想されると3時間前に連絡会議を調整している。

また日光川河口排水機は改修工事をし、毎秒100tの放水能力がある2基をパワーアップする。さらに1基追加を陳情している。避難場所は、鉄筋コンクリートづくりの2階建て以上としている。イオンタウンの駐車場やワイストアの屋上駐車場とも待避所として使う協定をし、市内各スパーにも協定を申し込んでいるところである。

防災広場は、今後は十四山地区に1カ所、また、弥富地区への計画も前向きに検討していきたい。



▶大藤防災広場(寛延地内)